

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
経済部	ジオパーク室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	24	筑波山地域ジオパークに要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	21,690千円	8,418千円	10,149千円	0千円
	総人件費	25,662千円	15,415千円	14,921千円	
	総事業コスト	47,352千円	23,833千円	25,070千円	

事務事業名	01 筑波山地域ジオパーク推進事業			指標名	筑波山地域ジオパークサポーターズ登録数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	筑波山地域ジオパークサポーターズ登録数									
	IV	12	1	観光の振興	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度											
戦略プラン	-	-	-	-	600名	800名	1000名	2500名	2700名	2900名	3100名											
	-	-	-	-	実績	535名	700名	2382名	2426名	-												
総合戦略	III 2 1 観光の振興			改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	【地方創生加速化交付金事業】 ■平成31年度末指標値(KPI) ・筑波山入込数：300万人 ・facebook, Twitterフォロワー数：1000件 ・観光客入込数：360万人								
	-	-	-		-	日本ジオパークに認定されたことにより、ジオパークの観光を目的とした来訪者が見込まれることから、看板の設置やガイド養成など受入れ体制の強化を行う。また、日本ジオパーク認定時にJGCより頂いた課題解消を行う。	平成31年2月に本ジオパークで開催予定の関東大会を目標とし、ガイドのスキルアップ、看板の設置を行う。また、日本ジオパーク認定時にJGCより頂いた課題の解決に向け、拠点施設の整備方針、事務局体制の強化について検討を行う。															
市長公約	-			事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会総会(5月) ・看板等整備計画の策定(上半期) ・ジオサイト解説板等の整備(下半期) ・ガイド養成講座の仕組みづくり及び開催(通年) ・各部会(3部会)の開催(通年) ・JGN全国大会(男鹿・大潟ジオパーク) ・JGN全国研修会等 ・ジオツアー(通年) ・筑ジオカフェ(通年) 				<ul style="list-style-type: none"> ・協議会総会(5月) ・ジオパーク学習の導入推進(通年) ・ジオガイドスキルアップ活動推進(通年) ・筑波山地域ジオブランド推奨品の認定 ・JGN全国大会(アポイ岳：10月) ・JGN関東大会開催(筑波山地域：2月) ・ジオツアーの定期開催(通年) ・拠点施設等整備方針検討(通年) ・事務局体制の強化検討(通年) 				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初					
個別計画	-				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会総会(5/9, 2/13) ・トータルデザイン計画案策定(～9月) ・案内看板盤面張替(～3月) ・認定ジオガイド養成講座(11/12, 11/26, 12/3, 12/10, 12/17, 1/14, 1/21, 1/28) ・各部会の開催(全14回：WG・分科会含む) ・JGN全国大会(男鹿・大潟大会 10/25～27) ・JGN全国研修会(幕張5/22, 箱根大会2/1～2) ・先進地研修(栗駒山麓GP12/20～21) ・ジオパーク学習(高崎中学校2/16, 2/23) 				-				事業費(A)	21,690千円	8,418千円	10,149千円	0千円				
根拠法令等	-			成果		<ul style="list-style-type: none"> ・認定ジオガイド養成講座を市民活動部会と共にカリキュラムづくりから行い、さらに専門講座の講師を各市民団体が担うなど、ボトムアップで開催することにより、本ジオパーク初の認定ジオガイド42名が誕生した。 ・各ジオサイト周辺学園の先生方と共に栗駒山麓ジオパークへジオパーク学習の先進事例の研修に伺い、さらにそのノウハウを活かし、高崎学園8年生(109名)を対象とした座学・現地研修を実施することで、ジオパーク学習の浸透が図れた。 				-				国庫支出金	15,000千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	A 任意的事业				課題	1～2年以内で解決すべき課題については、おおむね解消したものの、更なる推進を図る必要がある。 【1～2年以内で解決すべき課題】 ガイドのスキルアップ、教育活動への浸透 【3～4年先を視野に解決すべき課題】 事務局体制の強化、拠点施設の整備				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
執行体制	職員のみ			事業の進捗状況		達成 改善目標の進捗状況 達成				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	ジオパークは、地球科学的に価値の高い地質・地形を含む自然遺産を保全・保護し、教育や防災活動、ジオツーリズムなどに活用し地域の持続可能な発展を目指した活動である。筑波山地域ジオパークでは、つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市をエリアとし、住む人にも訪れる人にも『みんなに愛される地域づくり』を目指してジオパーク活動を進めている。				事業の概要	-				上半期活動実績	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
	筑波山地域ジオパークアクションプランに基づき、以下のような取組を進める。 ①『ジオを理解するための取組』として、学校教育を通じた教育・普及活動 ②『ジオを守るための取組』として、ジオサイトのデータベース化、保全体制の強化 ③『ジオと触れ合うための取組』として、ジオガイドの養成及び体制づくり、旅行者と連携したジオツアーの開催 ④『ジオをつなぐための取組』として、他のジオパークとの情報交換及び連携 ⑤『ジオが続くための取組』として、ボトムアップの協議会体制の強化			課題		-					上半期成果	-				一般財源	6,690千円	8,418千円	10,149千円	0千円		
ISO 14001	H29 環境関連性	-			評価	有効性 中：適切な成果が得られている				事業の進捗状況		-				人件費(B)	25,662千円	15,415千円	14,921千円			
	H30 環境関連性	-				効率性 中：適切な費用対効果が得られている					-				正職員		3.00人	2.00人	2.00人			
													臨時職員等	無	有	有						
													事業コスト(A+B)	47,352千円	23,833千円	25,070千円						
													H31年度当初積算根拠	-				H31年度当初積算根拠				
													理由	-				H31年度の方向性				